

# 日米韓軍事同盟に反対し 韓国民衆の闘いに連帯する 2・25 集会

呼 び か け

今年の3月1日は、日本の植民地支配からの独立を求め朝鮮半島全土で人びとが立ち上がった3・1独立運動(1919年)から98周年を迎えます。私たちにとっては、歴史を直視しながら日本と朝鮮半島やアジアの人びととの平和な関係をいかに築くのかを問い直す日でもあります。

## 日韓初の軍事協定(軍事情報包括保護協定)締結で進む日米韓軍事同盟の危険な動き

しかしこの間、平和な関係を築くのととは真逆の事態が日韓の間でも進行してきました。

昨年11月23日、日韓両政府は日韓間では初となる軍事協定「軍事情報包括保護協定(GSOMIA)」を締結しました。かつて李明博政権の時代に締結寸前で、それを察知した野党と世論の反対で頓挫していたのですが、今回、朴槿恵政権が圧倒的な民衆の退陣要求の渦中にありながらもあえて締結を強行したものです。またその少し前には中口も強く反対している米軍の高高度ミサイル迎撃システム(サード/THAAD)の「2017年韓国配備」の決定がなされています。これらの一連の動きは、米国の「ミサイル防衛(MD)」という名の核先制攻撃態勢に日韓をしっかりと組み込むためのものです。

## 日韓「慰安婦」合意を背景に自衛隊の朝鮮半島上陸への道開く

またこの動きは、安倍政権による安保法制(戦争法)に基づく集団的自衛権の行使とも密接に関わっています。日韓 GSOMIA は、「朝鮮半島有事」の際に自衛隊が米軍の後方支援のために朝鮮半島に上陸していくうえでも、韓国軍からの軍事情報は不可欠の要素だからです。

そして日韓 GSOMIA の締結強行が、それまで「慰安婦」問題をめぐる日韓間の緊張関係から、米国の強い圧力のもと被害当事者を抜きにした2015年12・28「慰安婦」合意による欺瞞的な「日韓和解」を下敷きにしてなされたことは明らかです。

被害当事者を抜きにした日韓政府間「慰安婦」合意にも日韓 GSOMIA にも、そして朝鮮半島と東アジアの緊張を高める日米韓軍事同盟に強く反対しましょう。

## 民主的で平和・統一を志向する新政権樹立をめざす韓国民衆の闘いに連帯しよう

この間、韓国民衆は「朴槿恵退陣」を求める数百万人のキャンドル行動の圧力で朴槿恵弾劾訴追を通過させ、大統領職務停止に追い込みました。憲法裁判所の弾劾審判の行方によりますが、早ければ5月、最悪でも12月には大統領選が行われます。韓国民衆はいまや巨大なキャンドル行動の持続をも背景としながら、民主的で平和と統一を志向する新政権樹立をめざして闘いを進めています。その闘いは、戦争への危険をはらむ日米韓三角軍事同盟の一角を切り崩し、戦争同盟から平和な東アジアの諸関係実現にとって大きな位置を占めています。今こそ闘う韓国民衆と連帯を強め、東アジアの平和の実現をめざしましょう！

●賛同費 個人1000円/団体3000円

●郵便振替 00110-8-140618 [日韓民衆連帯全国ネットワーク]

\*「3・1 集会賛同」と明記してください

3・1 朝鮮独立運動98周年集会に賛同します

【 個人・団体 】

氏名(団体名)

連絡先

●一言メッセージ

肩書き

電話

氏名(団体名)公表【 可・否 】